

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	戦没者叙勲等の進達等事業	担当部局庁	社会・援護局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和38年度	担当課室	援護企画課	井原 辰雄			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅶ-5-4 旧陸海軍に関する人事資料を適切に整備保管すること及び旧陸海軍に関する恩給請求書を適切に進達すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	戦没者の叙位及び叙勲について(昭和39年1月7日閣議決定)	関係する計画、通知等	援護費及び事務委託費の経理取扱要領の一部改正について(平成25年3月29日社援発0329第27号)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し、叙位及び叙勲の進達事務を行うものである。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	戦没者叙勲等にかかる本人又は遺族等からの照会事項への対応、関係機関との連絡調整、都道府県から進達されるものについて、閣議決定に基づき事務を旧軍関係調査事務等委託費の一部として都道府県に委託し、叙位及び叙勲の適切な事務処理を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	3	3	3	3	3
		補正予算					
		繰越し等					
		計	3	3	3	3	3
		執行額	3	3	3		
	執行率(%)	100	100	100			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、都道府県で調査中の若干の未処理分及び本人又は遺族等の申し出により進達されるものの処理を行っており、年間進達件数が1~2件程度であり、指標対象に馴染まない。	成果実績			-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	進達件数	活動実績(当初見込み)	件	2	1	1	-
				()	()	()	
単位当たりコスト	3,377,000(円/進達件数)	算出根拠	H24予算額 3,377,000円/進達件数1件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費、庁費	0.1	0.1				
	事務委託費	3.3	3.3				
	計	3.4	3.4				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、閣議決定に基づき国及び都道府県が実施すべき事業となっている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、閣議決定に基づき国及び都道府県が実施すべき事業となっている。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	死没した軍人軍属等に対し、叙位叙勲の進達事務を行うことは重要であり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—	—	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本事業は、調査経費及び連絡事務費となっており、進達事務に必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	本事業は、本人又は遺族等からの申し出により進達を行うこととして、必要な経費を計上しており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業については、進達事務を実施するため、進達件数に応じた適正な予算規模、支出となっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き必要な予算措置に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	475	平成23年	433	平成24年	378

厚生労働省 3.4百万円

〔今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された、叙位及び叙勲の進達等にかかる事務を旧軍関係調査事務等委託費の一部として都道府県に委託し〕

【事務委託】

B..うち事務費
0.1百万円

〔消耗品〕

A 都道府県(47) 3.3百万円

〔今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された、叙位及び叙勲の進達などにかかる事務の実施。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.沖縄県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1			
計		0	計		0
B.100万円を超える支出が無いため省略			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
2	兵庫県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
3	新潟県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
4	北海道	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
5	長野県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
6	福島県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
7	京都府	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
8	神奈川県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
9	大分県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		
10	秋田県	戦没者叙勲等の進達等事業	0.1		

B.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					